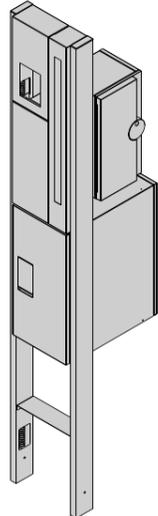
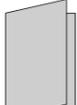
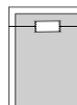
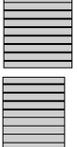
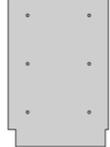


梱包内容

施工前に各パーツが入っていることをご確認ください。インターホン子機は別売品となります。

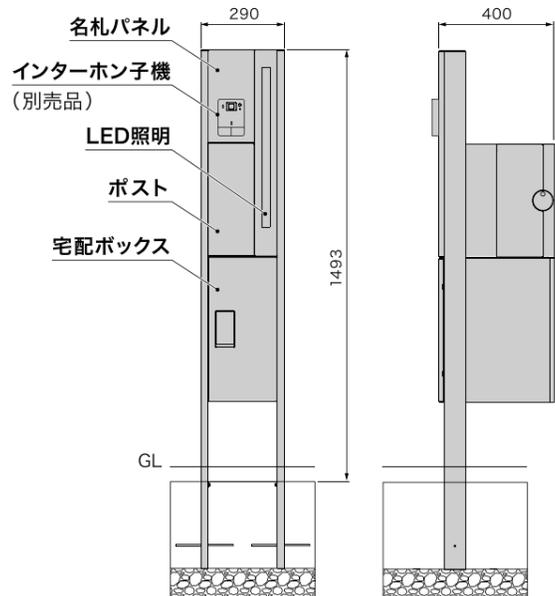
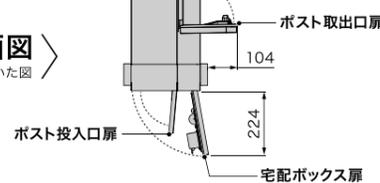
 <p>門柱ユニット 1台</p> <p>インターホン取付仕様 or インターホンなし仕様 及び、ポストの左右勝手をご確認ください。</p>	 <p>施工説明書 (本書) 1枚</p>	 <p>取扱説明書 一式</p>	 <p>インターホンステー 1個 <small>※インターホン取付仕様のみ付属</small></p>	 <p>なべ頭M4x8 2本 <small>※インターホン取付仕様のみ付属</small></p>
	 <p>名札背板 1枚</p>	 <p>抜け止め 2本</p>	 <p>ポスト用 スノコ(大・小) 1セット</p>	 <p>宅配ボックス用 スノコ 1枚</p>
	 <p>コネクタ CD管φ14用</p>	 <p>コネクタ PF管φ16用</p>	 <p>ジョイントナット</p>	 <p>CD管φ14 (支柱内部に収納)</p>
<p>インターホン取付仕様・・・各2個</p>		<p>インターホンなし仕様・・・各1個</p>		

製品納まり図・各部の名称

インターホン取付仕様

※下記図はポスト扉が(右勝手)の場合

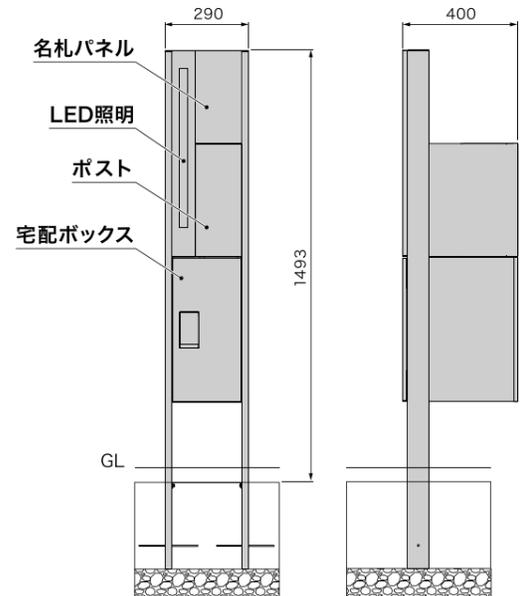
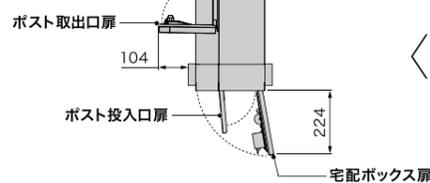
〈上面図〉
扉が開いた図



インターホンなし仕様

※下記図はポスト扉が(左勝手)の場合

〈上面図〉
扉が開いた図



●掲載内容に関して予告なく変更になる場合がございます。予めご了承ください。

施工説明書

クオール Qual 門柱ユニット KS-GP16ANKT

工事店様へ

施工の前にこの「施工説明書」をよくお読みの上、正しく施工してください。

- 施工前に外観の損傷がないこと、動作に問題がないことを確認してください。
- 施工中に製品が損傷しないように十分な養生を行ってください。
- 施工が原因で発生した損傷や故障については当社では責任を負いかねます。

安全上のご注意

ご利用の方や他者への危険・損害を防止するための重要な内容ですので必ずお守りください。

- 説明を無視した使用方法によって生じる(危険や損害の程度)を次の表示で区分し説明しています。



警告

この表示の欄は「死亡や重大な事故の発生が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は「けがや物的損害の発生が想定される」内容です。

- お守りいただく(内容の種類)を次の絵表示で区分し説明しています。(下記は絵表示の一例です。)



このような絵表示はしてはいけない「禁止」の内容です。



このような絵表示は必ず実行していただく「強制」の内容です。



警告

- 交流100V以外の電源で使用しないでください。
火災や感電の原因となります。
- 調光機能及び、水銀灯器具のついた回路への接続はしないでください。
- 蛍光灯スイッチ(表示灯付きのスイッチ類)及び人感センサー類は使用しないでください。
LEDに弱電流が流れると、完全に消灯しない場合があります。
- 非常用照明器具、誘導灯器具として使用しないでください。
- 分解・改造は絶対にしないでください。
火災や感電の原因となります。



- 配線工事は法規にしたがって必ず有資格者が行ってください。
誤った配線工事は漏電、感電や火災の恐れがあります。
- 分電盤からLED照明までの配線は専用回線を使用してください。
他の機器による負荷を防ぐためです。
- 施工と清掃の際は、必ず電源を切ってください。



注意

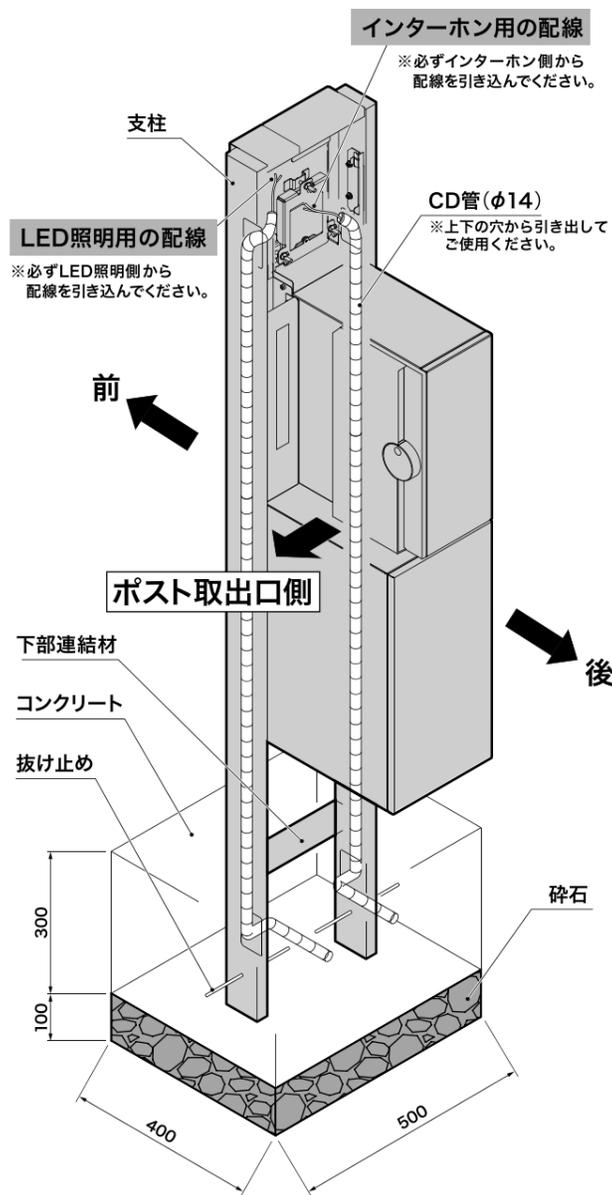
- 通行の妨げとなる場所に設置しないでください。けがの発生や事故の恐れがあります。
- 本体に重い物を乗せたり、寄りかかたりしないでください。
- ホース、高圧洗浄機による直接の水洗いはしないでください。故障の原因となります。
- 取付工事には適切な保護具(手袋等)を使用してください。
- 付属部品の取り付けの際は締め過ぎに注意してください。
電動ドライバーをご使用の際は、低速・低トルクから締め付けてください。
- 工具等で電線を傷つけないよう注意してください。
- 腐食の原因になりますので、基礎用コンクリート及びモルタルに急結剤、海砂を使用しないでください。
- 製品の意匠面にコンクリート、モルタルが付着した場合は速やかに清掃してください。
- LED照明を取り付ける際は主電源を切ってから行なってください。
- LED照明はD種接地工事を行なってください。
- 重量物のため、取付時は必要に応じて2人以上で行なってください。
- 製品取付後、外装工事を行う場合は、十分な養生を行なってください。
- 製品に化学薬品(酸・シンナー等)をかけないでください。
塗装はがれやさび発生等の原因になります。

梱包内容は《裏面》をご覧ください。

施工方法

以下の手順にしたがって施工してください。

※イラストは、インターホン取付・ポスト右勝手仕様の場合です。



- 基礎に穴を掘る。**
左図と下記寸法を参考に、基礎に必要な穴を掘ります。
参考寸法 ●幅・・・500mm ●深さ・・・400～500mm ●奥行・・・400mm
- 穴に碎石を敷く。**
1で開けた穴に碎石を敷いて底を突き固めます。
注意 碎石を敷かないと支柱内部に水が溜まり、腐食の原因になりますので必ず敷いてください。
- 配線を引き込む。**
① 左右の支柱にある開口からCD管を引き出してください。穴は上下にあります(合計4か所)。
② LED照明用の配線を、LED照明側のCD管から門柱内部へ引き込んでください。
③ 〈インターホン取付仕様〉の場合は、インターホン用の配線をもう一方のCD管から門柱内部へ引き込んでください。
④ PF管を使用する場合は付属のコネクタでCD管と接続してください。
CD管(φ14) ●コネクタ CD管(φ14用) ●ジョイントナット ●コネクタ PF管(φ16用) ●PF管(φ16) ※現場手配となります。
注意 LED照明とインターホン子機の配線をする場合は、必ず左右のCD管から別々に引き出してください。
- 仮固定する。**
水平を出しながら門柱を立てて、支持柱(現場手配)等で仮固定します。仮固定したら左右の足の下部にそれぞれ抜け止めを差し込みます。
- コンクリートを流し込む。**
下部連結材が少し埋まるくらいが目安です。
- 盛り土等で仕上げる。**
コンクリートが固まったら支持柱を取り除き、盛り土等で表面を仕上げてください。

インターホン子機取付方法

〈インターホン取付仕様〉の場合は以下の手順にしたがって施工してください。

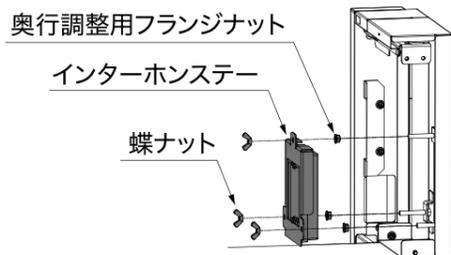


取り付けるインターホンの種類をご確認ください!

ナスタインターホンとそれ以外のインターホン(パナソニック、アイホンなど)で施工方法が異なります。

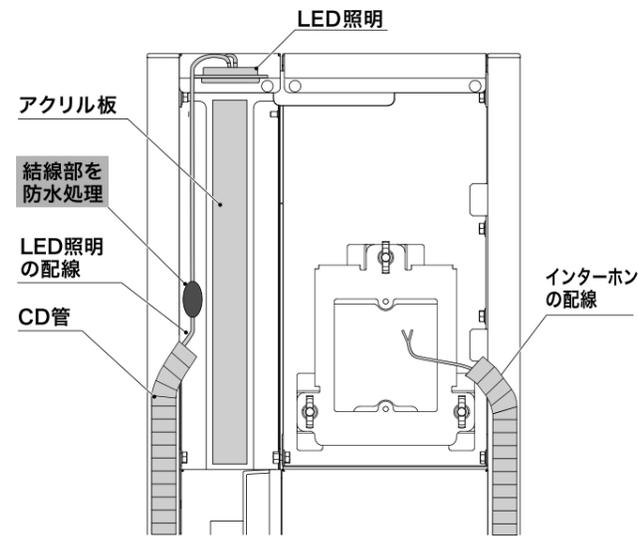


- 名札パネルに仮止めされている蝶ナット(3個)と奥行調整用フランジナット(M4×8)(3個)を緩め、インターホンステーを外します。
- P.3~4(A4サイズのページ)に記載の手順(3~4)にしたがって、インターホン子機を取り付けます。



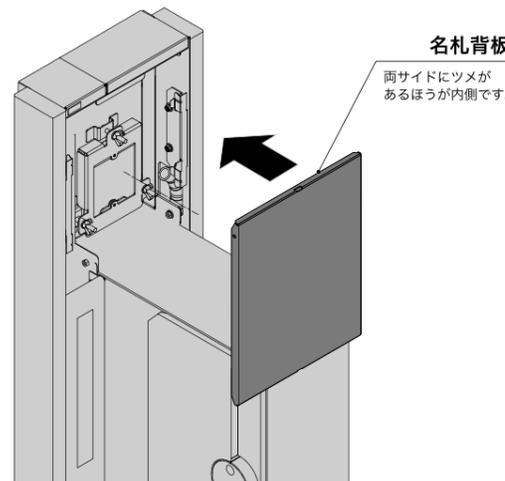
結線方法

以下の手順にしたがって施工してください。



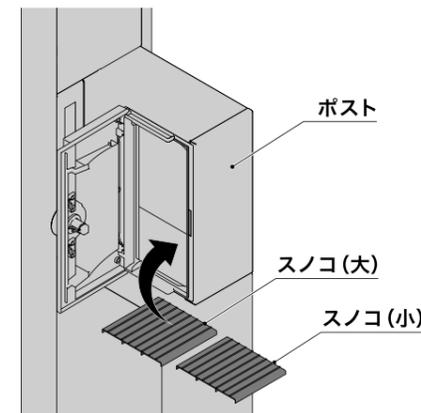
- LED照明を結線する。**
LED照明を結線してください。(結線部は防水処理を施してください)。
注意 防水処理を施さないとショートのおそれがあります。必ず防水処理を行ってください。
- 結線部を支柱横穴に入れる。**
配線がアクリル板に重ならないよう、結線部は出来る限り支柱横穴に入れてください。配線がたわんでしまう場合は、ビニールテープ等で止めてください。
注意 配線がアクリル板に重なると影になります。配線は支柱横穴に収納してください。
- 〈インターホン取付仕様〉の場合
インターホン子機を結線する。
インターホン子機をインターホンの説明書にしたがって結線してください。

- 結線終了後、名札背板を押し込む。**
名札背板を「パチン」と音が鳴るまで強く押し込んでください。両側のツメがしっかり入り込んでいることを確認してください。取り付けの際は配線を傷つけないようにご注意ください。

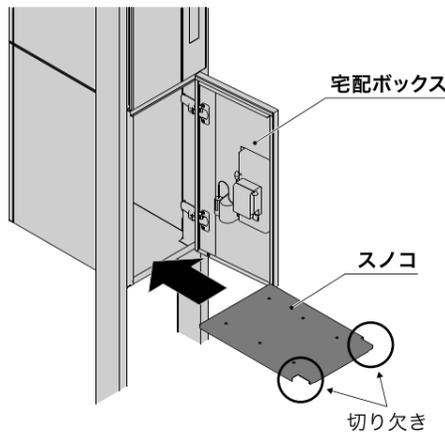


スノコの敷き方

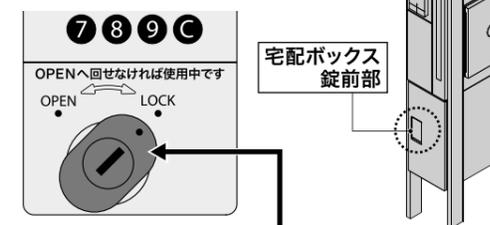
- ポストにスノコを敷く。**
サイズが2種類(大・小)あります。下図のように〈大〉〈小〉の順で敷いてください。



- 宅配ボックスにスノコを敷く。**
下図のように切り欠きが手前に来るように敷いてください。



施工後のお願い



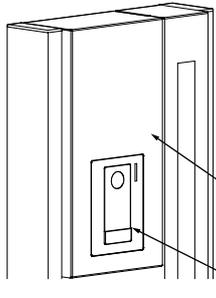
宅配ボックスの錠前のツマミを、右側(LOCK)に回して、扉が開かないようにしてください。扉が風等で開き、けがをする恐れがあります。お客様に引き渡すまでの間は必ず上記を行なってください。
*〈取扱説明書〉一式をお客様にお渡しください。



注意

本項目は P.2 「インターホン子機取付方法」からの続きです。
インターホンは門柱の埋め立て後に取り付けてください。

パナソニック/ アイホンなどの インターホンの場合

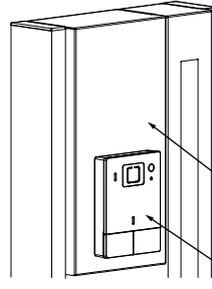


本ページ手順 **3** **4** を参照し
インターホン子機の
奥行きを調整しながら
設置してください。

インターホンボックス

インターホン子機

ナスタインターホンの場合 (KS-DP01 シリーズ)



裏面 (P.4) を参照し
インターホン子機を
半分埋め込むように
設置してください。

インターホンボックス

インターホン子機



ナスタインターホンは
表面に下記ロゴが描か
れています。



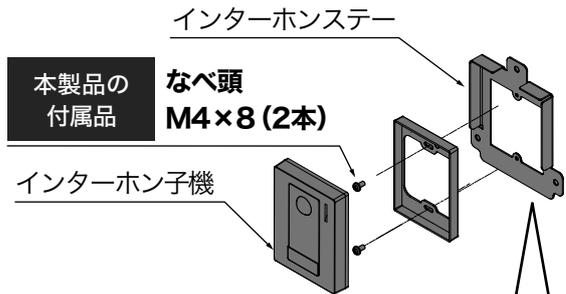
裏面 (P.4) へ

パナソニック/ アイホンなどのインターホンの場合

3 インターホン子機と インターホンステーの取り付け

インターホンステーに、付属のなべ頭 M4×8(2本)を
使用しインターホン子機を取り付けます。

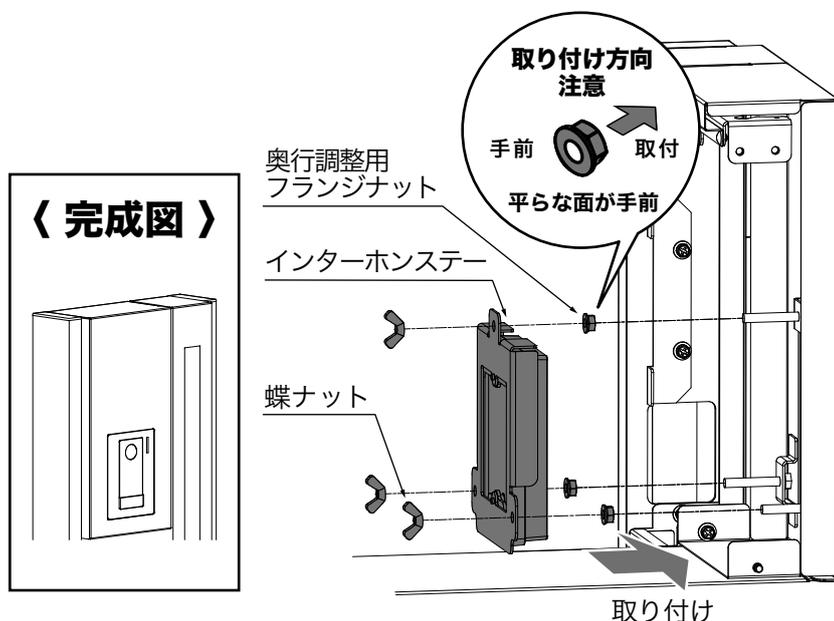
※取付方法はお使いになるインターホン子機に付属している
施工説明書をご参照ください。



注意 取付方向にご注意ください。

4 3 をインターホンボックスに固定する

奥行調整用フランジナットを回し、インターホン子機の厚さに合わせて**奥行を調整**してください。
その後 **3** を蝶ナット(3個)を使用して固定してください。



〈完成図〉

奥行調整用
フランジナット

インターホンステー

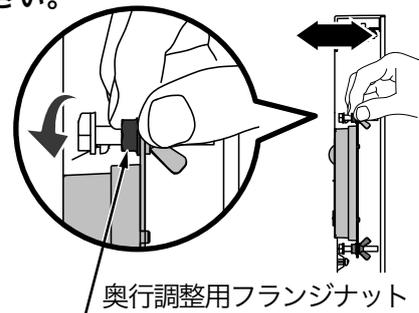
蝶ナット

取り付け



ポイント インターホン奥行調整方法

奥行調整用フランジナットを前後に
回しながら調整してインターホン子
機の厚さに合わせて取り付けてくだ
さい。



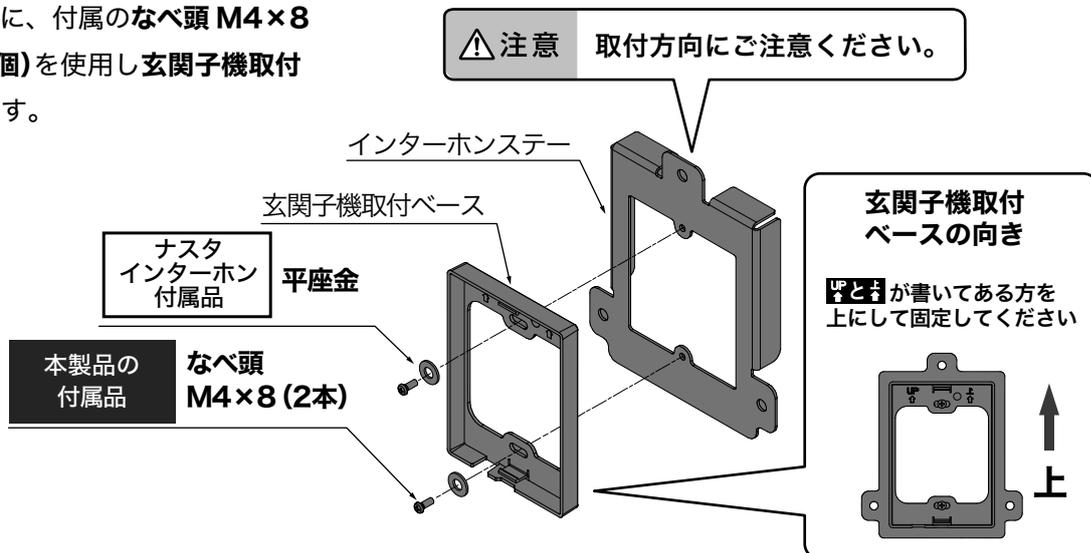
奥行調整用フランジナット

⚠ 注意

ナスタインターホンの取付は、本紙とナスタインターホンに付属している施工説明書を合わせてご参照ください。

3 玄関子機取付ベースとインターホンステーの取り付け

インターホンステーに、付属のなべ頭 M4×8 (2 本)と平座金 (2 個)を使用し玄関子機取付ベースを取り付けます。



4 3 とインターホン子機をインターホンボックスに固定

3 を蝶ナット (3 個) を使用し奥まで固定してください。

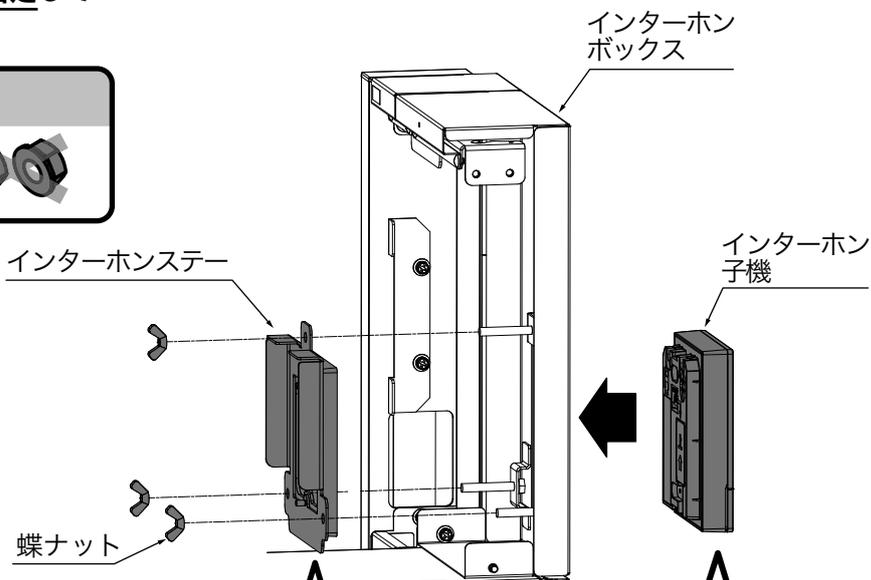
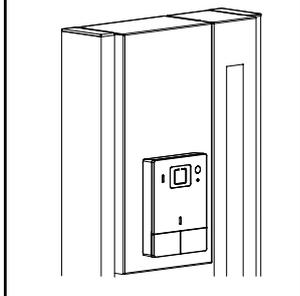
⚠ 注意

奥行調整用フランジナットは使用しません。



その後、正面からインターホン子機を押し込み、外れないことを確認してください。

〈完成図〉



① 固定

奥まで入れ、蝶ナットで固定

② 押し込む

正面からパチンと音が鳴るまで押し込む